安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	:	**レイジオプテックス**
製品コード	:	100135
会社名	:	株式会社創新
住所	:	東京都豊島区上池袋4-11-16ノックスドールビル3階
電話番号	:	03-3918-3100
FAX番号	:	03-3918-3511
推奨用途	:	自動車用板金パテ
使用上の制限	:	業務用使用に限定

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体	区分3

健康に対する有害性

急性毒性(吸入:蒸気)	区分4
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分1B
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(中枢神経系、呼吸器) 区分3(麻酔作用、気管刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(中枢神経系、末梢神経系、視覚器、聴覚器、呼吸器、肝臓)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)	区分1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分2

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語 危険

危険有害性情報

引火性液体および蒸気
吸入すると有害
皮膚刺激
強い眼刺激
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系、呼吸器の障害
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、末梢神経系、視覚器、聴覚器、呼吸器、肝臓の障害
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
取扱い後は手、顔をよく洗うこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

応急措置　皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
火災の場合:消火するために適切な消火剤を使用すること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合:多量の水/石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診断／手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断／手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

保管　換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。

廃棄　内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　:　混合物

成分　:

化学名	含有率	CAS番号	化審法番号	安衛法			化管毒劇
				表示	がん原	特化則	化管法
				通知	皮膚障害	有機則	毒劇法
スチレン	10-30%	100-42-5	3-4	該当	非該当	第二類	第一種
				該当	特化則	非該当	非該当
タルク	10-30%	14807-96-6	対象外	非該当	非該当	非該当	非該当
				非該当	非該当	非該当	非該当
石灰石	7-13%	1317-65-3	対象外	非該当	非該当	非該当	非該当
				非該当	非該当	非該当	非該当
炭酸マグネシウム	5-10%	546-93-0	1-155	非該当	非該当	非該当	非該当
				非該当	非該当	非該当	非該当
ガラスエナメル	3-7%	65997-17-3	既存扱い	非該当	非該当	非該当	非該当
				非該当	非該当	非該当	非該当
二酸化チタン	0.1-1%	13463-67-7	1-558	非該当*	非該当	非該当	非該当
				該当	非該当	非該当	非該当
N-メチル-2-ピロリドン	0.1-1%	872-50-4	5-113	非該当*	非該当	非該当	非該当*
				該当	該当	非該当	非該当

＊ 閾値未満で非該当

4. 応急措置

吸入した場合　:　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　:　多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合 : 直ちに、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

---

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、

使ってはならない消火剤 : 棒状注水

火災時の特有の危険有害性 : 情報なし

特有の消火方法 : 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火作業は、風上から行う。
周囲の設備等に散水して冷却する。

消火を行う者の保護 : 消火活動では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

---

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

流出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
漏洩時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を及ぼさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収

スコップですくい取り空容器に回収する、取除いた後、残りをウエス,雑巾等でよくふき取る。

中和

「13、廃棄上の注意」に従い適切に処理する。

二次災害の防止

こぼれた場所は滑りやすいために注意する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

---

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

気中濃度を管理濃度、許容濃度或は推奨される濃度以下を保つために、適切な全体換気または局所排気を行う。

取扱者のばく露防止の記載

取り扱いは、換気の良い場所で行う。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」にある混触危険物質と接触しないように取扱う。

衛生対策

取扱い後は、手、顔をよく洗い、うがいをする。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で、容器を密閉し保管する。
日光から遮断すること。

安全な容器包装材料

オリジナルの容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

安衛法　管理濃度　スチレン　20ppm
濃度基準値設定物質 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会（2023年度）	スチレン		10ppm	
	タルク(第1種粉じん)		0.5mg/m^3	(吸入粉塵)
			2mg/cm^3	(総粉塵)
	石灰石(第3種粉じん)		2mg/m^3	(吸入粉塵)
			8mg/m^3	(総粉塵)
	二酸化チタン(第2種粉じん)		1mg/m^3	(吸入粉塵)
			4mg/m^3	(総粉塵)
	N-メチル-2-ピロリドン		1ppm	皮膚
ACGIH（2020年度）	スチレン	TWA	10ppm	
		STEL	20ppm	
	タルク	TWA	2mg/m^3	
	二酸化チタン	TWA	10mg/m^3	

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化し、又は、局所排気装置を設置する。
取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する

保護具

呼吸用保護具:	必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用する
手の保護具:	耐透過性保護手袋、PVA、バイトン・ブチル、LLDPE多層フィルム製等を推奨
眼の保護具:	安全眼鏡、安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具:	長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態		液体	
色		赤;ピンク	
臭い		刺激臭	
融点／凝固点		情報なし	
沸点又は初留点及び沸点範囲		145℃	
可燃性		可燃性	
爆発下限界及び爆発上限界		情報なし	
引火点		31℃	
自然発火点		情報なし	
分解温度		情報なし	
pH		情報なし	
粘性率		40,000	
溶解度		情報なし	
n-オクタノール／水分配係数		情報なし	
蒸気圧		情報なし	
相対密度		1.08g/cm^3	
相対ガス密度		情報なし	
粒子特性		情報なし	
その他データ	VOC含有率	使用時	40.7g/L
		未使用時	110g/L

10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性
通常の取り扱いでは安定。
危険有害反応可能性
通常の取扱いではない。
避けるべき条件
過度の加熱
混触危険物質
強酸化剤
危険な分解生成物
炭素酸化物

---

11. 有害性情報

製品としての有害性情報はない、成分の有害性情報は以下の通りである。

急性毒性

経口	スチレン	複数のデータがあり、7件中6件が区分外である。
経皮	スチレン	ラットLD50 ＞2000mg/kg
吸入(蒸気)	スチレン	ラットLC50 2700～6480ppm（4時間）

皮膚腐食性及び皮膚刺激性
スチレン 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性
スチレン 区分2A
呼吸器感作性 情報なし
皮膚感作性 情報なし
生殖細胞変異原性
スチレン 区分2
発がん性
スチレン 区分1B
二酸化チタン 区分2
生殖毒性
スチレン 区分1B
N-メチル-2-ピロリドン 区分1B
特定標的臓器 単回ばく露
スチレン 区分1 （中枢神経系）
区分3 （気道刺激性、麻酔作用）
タルク 区分1 （呼吸器）
特定標的臓器 反復ばく露
スチレン 区分1（中枢神経系、末梢神経系、視覚器、聴覚器、呼吸器、肝臓）
タルク 区分1（呼吸器）
誤えん有害性
スチレン 区分1
製品としては粘度が高く区分は該当しない。

---

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性(急性)
スチレン 区分1
藻類の96時間EC50=0.72mg/Lから、区分1とした。
水生環境有害性(長期間)
スチレン 区分2
藻類の96時間NOEC=0.063mg/Lから、区分2とした。
残留性・分解性 情報なし
生体蓄積性 情報なし
土壌中の移動性 情報なし
オゾン層への有害性 情報なし

---

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

汚染容器及び包装

内容物を完全に除去した後に処分する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

---

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送

国連番号	UN3269
品名(日本語名)	ポリエステル樹脂キット
品名(英語名)	Polyester Resin Kit
国連分類	3
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	-

航空輸送

国連番号	UN3269
品名(日本語名)	ポリエステル樹脂キット
品名(英語名)	Polyester Resin Kit
国連分類	3
容器等級	Ⅲ

緊急時応急措置指針番号(NAERG) 128

国内規制

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う
航空規制情報 航空法の規定に従う
陸上規制情報 消防法の規定に従う

その他

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
直射日光を避けて輸送する。

---

15. 適用法令

化学物質排出管理促進法	第一種指定化学物質	スチレン(平均値20%)	
労働安全衛生法	通知義務物質	スチレン、二酸化チタン、N-メチル-2-ピロリドン	
	表示義務物質	スチレン	
	有機溶剤中毒予防規則	非該当	
	特定化学物質障害予防規則	第二類物質	スチレン
	がん原性物質	非該当	
	皮膚等障害化学物質	非該当	
	濃度基準値設定物質	非該当	
	がん原性指針対象物質	スチレン	
毒物及び劇物取締法		非該当	
化審法	優先評価化学物質	スチレン	
消防法	危険物 第4類 第2石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ		

---

16. その他情報

ITW Evercoat社SDS Version 2: Revision Date:06-Feb-2020

JIS Z 7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法'-ラベル、作業内容の表示及び安全データシート(SDS)」に対応
NITR-CHRIP
GHS政府分類結果
ACGIH TLVs and BELs 2020
令和6年度施行安衛法皮膚等障害化学物質規制に伴う見直し
令和6年度施行安衛法濃度基準設定物質規制に伴う見直し
令和7年度施行安衛法濃度基準設定物質規制に伴う見直し

令和7年度施行安衛法表示・通知義務物質改訂に伴う見直し
令和8年度施行安衛法表示・通知義務物質改訂に伴う見直し

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。 このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。